

筑心

chikushin

筑心会

vol.19

2009 JULY

平成21年7月1日発行



発行 福岡県立筑紫高等学校
同窓会 筑心会

第34回筑心会 懇親会

2009年8月2日(日) 15:00~
西鉄グランドホテル

第8回筑心会 関東支部総会

2009年10月3日(土) 14:30~
渋谷 エクセルホテル東急

在校生のために
私たちが出来ること。

TOPICS

3期生 中森 秀樹 氏
平成21年 黄綬褒章 受賞

www.chikushin.net

ご挨拶

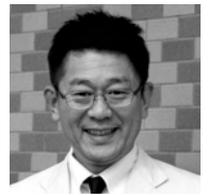


「嬉しい知らせ」
名誉会長(学校長)
石橋 國重

我が国は、昨年から続く百年に度という経済危機に、新型インフルエンザの出現が加わり、行動の自由が失われるばかりか、経済にも大きなダメージが出ています。政界は、二大政党が政権を争ってはいるものの、それぞれ不安材料を抱え、決め手を欠く始末です。日本にも米国のオバマ大統領のような、さわやかで牽引力を持ち、カリスマ性のあるリーダーの出現に期待したいものです。ところで、今年度が始まって早々に、筑心会から大変喜ばしい知らせを受けました。それは、本校の三期生で、現在、関東支部の支部長として同窓会役員としても活躍中の中森秀樹さんが、春の褒章で黄綬褒章を受章されたとの大変おめでたい知らせでした。中森さんには二月二十八日、学校で行いました同窓会入会式に、わざわざ関東からかけつけていただき、今年卒業の三十四期生を前に、同窓会長の代理で「ご挨拶をしていただきまし

た。ご自分の学生時代にはラグビーに明け暮れ、大学入試では挫折を味わったことや、工業技術の開発と普及に携わり、多くの苦労をしながらも新しい製品を生み出す研究開発に情熱を注がれたことなどの経験をもとに、努力と辛抱の大切さを語られました。筑紫高校時代は、部活動で、心身を磨き、三年間の高校生活で培われた筑紫魂を大いに発揮し、持ち前のひらめき、あきらめない持久力、さらに、溢れんばかりのバイタリティーと逞しさが感じられるお人柄によって、事をなし遂げられたことが評価され、今回の栄誉に結びついたものと思います。

学校を代表し心からお祝いを申し上げますとともに、さらなる活躍をお祈りいたします。終わりに、筑紫魂を宿した卒業生が同様に国内外で大いに活躍されることを期待して、「挨拶」といたします。



「文武両道に思う」
同窓会会長
木原 寿

皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年度は関東支部総会の開催年であり、関東在住の皆様はこの機会を活用し、親睦を深めていただければと思います。

さて、皆様ご存知のとおり母校は先輩方から受け継がれた「文武両道」を教育活動のスローガンに掲げておりますが、このスローガンを聞くと私は所属していた体育部の監督が言われた「文武という二兎は追う事ができる」という言葉を思い出します。

文武両道を成すという事は、「知力と体力を鍛える事」、「二律背反の事項を創造力をもって成し得る事」、「バランスを取る事」等の解釈があるかと思いますが、社会に出てからも「家庭と仕事」は言うに及ばず、「発展と環境保全」或いは「利潤追求と社会的責任」等、様々な状況において二兎を追う事が求められており、その意味で、「文武両道」は社会に求められる人材の育成に繋がることのひとつであらうと思います。

筑心会の会長をお引受けして早一年、その間に「金融危機に端を発したリストラ、不景気」、「新型インフルエンザ感染問題」等、母校の後輩らに負の影響を及ぼすような事件が発生しておりますが、学校、父母教師会、教育振興会など多くの皆様と共に、後輩らが「文武両道」に専念できるように母校支援して参りたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

「同窓会緊急奨学金」 立上げに伴う寄付のお願い

寄付金については、平成20年度末現在累計で1,642,711円となりました。寄付をお寄せ頂いた皆様に、心より感謝申し上げます。

さて、「貧しくて学べない(卒業できない)生徒の増加」という問題が、テレビ番組等で取り上げられたりしておりますが、母校との意見交換を通じて認識いたしましたのは、この問題は「学費免除の要望や奨学金の要望」となっており、母体においても顕在化しつつあるという事です。

また、昨年から金融不安、経済情勢の悪化により、ここ数年は、経済的に就学が厳しい生徒も増加する事が予想され、この問題は、「他人事、母校の後輩らには無関係」という訳にはいなくなりました。

そこで今般、同窓会として次代をになう現役生徒を支援すべく緊急措置としての同窓会奨学金の立上げに着手いたしました。

一方、筑心会全体の運営にかかる収支状況は安定推移しておりますものの、収入の大半を現役からの同窓会費に依存しており、残念ながら「奨学金の基金を準備するまでの実力は持ちえていず、奨学金の財源は寄付金に頼らざるを得ない」のが現状です。

つきましては、経済的な理由により就学が厳しい現役生徒を一人でも多く支援できるように、多くの同窓生からのご寄付をお願い申し上げます。

同封の振込用紙にて一口一、〇〇〇円より受け付けておりますので、ご利用ください。

恩師往来

○退職

- 前田 真介(事務長)
- 中園由美子(主任実習助手)

○転出

- 山本 博康(国語)
- 県教育庁教育企画部企画調整課
- 鈴木 貴子(国語)
- 鈴木 貴子(国語)
- 鈴木 貴子(国語)

○転入

- 一ノ瀬泰宏(社会)
- 須惠(国語)
- 東島 邦治(数学)
- 福岡中央高校
- 小西 善夫(数学)
- 光陵高校
- 加藤 雅巳(数学)
- 朝倉(数学)
- 中島 修(理科)
- 久留米学校
- 西尾 孝裕(理科)
- 香椎(数学)
- 久保野弘光(保健体育)
- 新宮(数学)
- 中村東亜子(外国語)
- 春日(数学)
- 高橋 龍彦(事務次長)
- 筑前(数学)

○転入

- 隈本 喜毅(事務長)
- 古賀養護学校
- 池田 悦子(国語)
- 稲葉志耕館高校
- 矢加部 彰(社会)
- 浮羽(数学)
- 古賀 伊彦(社会)
- 山下 俊子(数学)
- 明善(数学)
- 飯田 啓介(数学)
- 福島 治彦(理科)
- 松田真由子(理科)
- 水戸 徹(保健体育)
- 渡邊 伸介(外国語)
- 山本 真(事務次長)
- 久留米(数学)
- 松永 佳恵(国語)
- 瀬田 恵子(家庭)
- 小島 俊二(国語)
- 森藤 翔士(理科家庭情報)

(敬称略)

第33回筑心会懇親会報告

同窓会会員の皆様、昨年も第33回筑心会懇親会へ300名近いご参加をいただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、盛況のうちに懇親会を終えることができました。当番幹事一同、心から御礼申し上げます。

当番幹事会発生前はまったくの手探り状態であり、かつ過去数回の盛況ぶりを聞くにつけ、この盛り上がりの流れを継続させなければとかなりのプレッシャーでした。当日は、ポンビタール、記念グッズの販売や各当番幹事期の当時の写真を展示など、当時を懐かしんでもらえるような企画を実施、高校時代に戻って同級生・恩師との思



い出話に花を咲かせていただけたものと思います。改めてご協力くださった方々、当番幹事の皆さん、諸先輩方ありがとうございました。

さて、今年も8月2日に向けて3期・13期・23期・33期の当番幹事が準備を進めております。今年も一人でも多くの方が懇親会に参加していただき、旧交を温めて楽しい時間をすごしていただけるよう、我々も協力したいと思っています。

皆様、今年も筑心会懇親会でお会いしましょう！
平成20年度当番幹事一同



筑心会 関東支部 第8回総会案内

筑心会副会長 関東支部長 3期生 中森 秀樹

早いもので筑心会関東支部を立ち上げて今年で14年。また、今年は隔年開催の関東支部総会開催の年です。

今回は、「温故筑心」〜母校への架け橋〜をテーマに掲げ、関東支部役員、スタッフが第8回開催に向けて準備を進めています。「100年に1度」と云われる大不況、この厳しい時代に、同じ針摺の地で勉学、部活動に勤しんだ仲間として何かサポート出来ないかとの思いから、今回はOBによる



る学生への就職活動のサポート、ビジネス交流を深められる催しを企画、また楽しいゲームなども考えております。

関東在住の皆さん、母校で学んだあの時に思いを馳せながら、お世話になった先生方、同級生、クラブの仲間達と楽しく有意義な1日を過ごしてみませんか。

来る10月の総会で、皆様にお逢いできる事を心より楽しみにしています。

第8回 関東支部総会 開催内容

- 日時** 2009年10月3日(土)
14:30受付開始 15:00開宴 17:30閉宴
- 会場** 渋谷 エクセルホテル東急
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目12番2号(渋谷マークシティ内)
TEL. 03-5457-0109
JR山手線、東急東横線、地下鉄半蔵門線、銀座線、京王井の頭線渋谷駅下車徒歩0分(複合ビル渋谷マークシティ内)
- 会費** 1期~29期 7,000円 30期~ 3,000円
(中学生以上の同伴者 4,000円、小学生以下無料)
会場には小さなお子様のためのキッズスペースを用意しております。安心してお越し下さい。

■2次会も開催します。場所は当日会場にてご案内します。
■尚、出欠のご連絡は、同封の返信用はがきもしくは、ホームページからお願いいたします。また、住所変更等も、同様にお知らせいただくと幸いです。

第34回筑心会案内

「在校生のために私たちができること。」というコンセプトで、同窓会がリニューアルして今年で5回目の懇親会を迎えます。リニューアルの第1の目的は、「在校生のために物心両面からバックアップをしよう」というものでした。それから、毎年当番幹事があらゆる手段で人を集め、懇親会の中に工夫を凝らしています。昨年は12期生が中心となって「オリジナル缶バッジとマウスパッド」を¥10000で販売し完売。少しづつではありますが、在校生のために金銭面でバックアップができるようになってきました。

卒業したら母校に直接関わる事ってできませんよね。でも、筑紫高校で心身共に鍛えてもらったことが社会に出てだけありがたかったかは、皆さん実感されていると思います。卒業生が在校生にできること：それは、年1回の懇親会に参加することです。そのことが母校の発展につながります。

今回の当番幹事は13期生を中心とした3（サーソン）の付く学年です。今年は「オリジナルエコバッグとマイはし」をセットで¥10000で販売するとか。幹事さんたちは忙しい仕事の合間を縫って、月に一度の当番幹事会を定例化しているそうです。

「アラフォー真っ直中の13期生。入学時の競争倍率が低かった：人間は個性的だった。体育祭は1回しかなかった。だから、文化祭はやけに盛り上がった。修学旅行は寝台で行ったが、新幹線のデッキに立って

帰った。夏休みのクラスキャンプが流行っていた。マロニエで集会していた。2年の時食堂ができた。売店でアイスクリームが売っていた。男子生徒はあるものがなくて植え込みに追い込まれていた。たくさん怒られた。思い出せばいつまでも話は尽きません。先生方にはかなり迷惑をおかけいたしました。成長した姿をぜひ見に来て頂きたい。幹事一同お待ちしております。」

「新設校」と呼ばれ若かった筑紫高校も、もう37歳になりました。グラウンドには芝生が青々と広がり、伝統校の風格さえ感じます。在校生は「こんにちは」と誰に対しても元氣な挨拶をしてくれます。それから駅や町中で見える筑紫高校生の、なんとさわやかなこと！ひいき目かもしれません。ホントに「高校生らしい」高校生が多いですよ。これも筑紫高校を愛してください。この先生方、地域の皆さん、そして保護者の方々の温かいご指導のためものだと思います。そこに、我々同窓生も加われば最高のバックアップ体制だと思いませんか？ぜひ母校のますますの発展をみんなで応援しましょう。そんな思いで、8月にお会いできれば幸いです。

第34回筑心会

【日 時】	8月2日(日)
【受 付】	15時00分～
【懇 親 会】	15時30分～
【場 所】	西鉄ランドホテル
【会 費】	(当日価格)
1～13期	6,000円
14～23期	5,000円
24～30期	4,000円
31～33期	2,500円
34期	1,500円

◎ 出席予定の先生方 ◎

安達昌代	瀬戸口朋子
石橋國重	園 靖則
内田敏章	中園由美子
大坪永三	中村邦夫
加留部征男	西村寛久
北島龍雄	仁田原秀明
城戸英敏	野島明日香
君塚陽子	林 清昭
木村厚生	樋口千鶴
木村賢治	福田修
日下部成邦	三好敬子
隈本喜毅	安森美保
四村聡子	吉田和裕
白石健	脇山弘二
白垣政康	渡部一雄
鈴木貴子	(順不同)



前売り価格がお得! 懇親会チケットを「チケットぴあ」にて発売中!
ホークス戦ヤフードームスーパーボックスが当たる!

今年の筑心会懇親会入場チケットもチケットぴあにて前売り販売いたします。

販売期間	前売り	当日
平成21年7月1日～8月1日		
販売場所		
1～13期	¥5,700	¥6,000
14～23期	¥4,600	¥5,000
24～30期	¥3,600	¥4,000
31～33期	¥2,000	¥2,500
34期	¥1,000	¥1,500

◎全国チケットぴあ取り扱いカウンター、ファミリーマート、サークルK、サンクス
◎Webサイト「電子チケットぴあ」
(インターネット経由でのご購入の場合、別途手数料¥310が発生します)
◎Pコード: P615-610
(購入の際にPコードを販売窓口で申し出ていただくか、チケット発券機へ入力してください)
懇親会当日「チケットぴあ」様の協賛で、「ホークス戦ヤフードームスーパーボックスが当たる!」の抽選会(1試合分)がございます。

お子様連れでもお気軽にどうぞ。小学生以下無料!!

お問合せは筑心会へ

- 電話: 092-924-1511
- E-Mail: info@chikushin.net
- URL: http://www.chikushin.net

第4回OB座談会実施報告と感想

If & Reality



開催日 2008年11月22日(土) 快晴 ☀️
 詳細日程
 9:10~ 開会式 (体育館にて講師の紹介)
 9:50~10:40 1回目講演
 10:50~11:40 2回目講演
 12:30~ 意見交換会を兼ねた 食事会

11月22日、快晴の青空と懐かしい針摺の穏やかで暖かな空気を感しながら、OB達が朝の筑紫高校に集まってきました。ほとんどどのOBは筑心会の冊子やインターネットサイトを「我も後輩のために一肌脱がんと自ら申し込まれた方々です。少々緊張してはいるものの参加OB全員が爽やかな笑顔で朝の挨拶を交わしていました。体育館で現役生との対面の後、OBそれぞれが教室に散っていきます。迎えに来てくれた生徒と雑談する余裕のある人もいれば、緊張のあまり会話がでずに無口になってしまいう人もいましたが、一旦教室に入ると、さすが、みなさんが大人の雰囲気と余裕を醸し出し、現役生徒との対話を楽しんでいました。

一回の座談会を終え、控え室に戻ってきた時には、参加OBそれぞれがホッと安心したり、達成感を感じていたりしていました。前年ま



では、終了後に控え室でお弁当を食べながら参加OBの意見交換会を行っていました。みなさんの達成感や興奮を伝えるには時間が少ないということから、昨年は学外に会場を変え、懇親会も含めじっくりと時間を取って意見交換会を行いました。当然、少しのアルコールも入り、皆さんが非常に饒舌になっていたことは想像に難くないでしょう。

今後は、縦の繋がりを強化できるこのような懇親・意見交換会も、OB座談会参加者の醍醐味となりそうな雰囲気です。そんなことを考えながら平成20年度のOB座談会は無事に終了しました。

OB座談会実施委員一同



「OB座談会」感想文

対象学年は現3年生(35期生)、いずれも一部抜粋



「私は高校生に何を伝えるべきなのか、どうやればうまく伝えるのか」そんなことを考えながら教室に入る。生徒の眩しい視線が一齐にこちらに注がれる。まずは、軽い雑談を投げかけてみるも盛り上がらない。「不発だなあ。」心の中で苦しいしながら開き直る。あつという間の50分。伝えたいことは伝えられたと思う。しかし、伝えるべきことは伝えられたのだろうか。結局、「君の人生だ、君が頑張れ！」と応援したかっただけなのかも。

門田 良明 / 10期生(キャリア・カウンセラー)



自分のこれから先の将来について前向きに考え、行動していくことが大切だという事を知ることができました。進路を決める上で今回のお話を役立てたいと思います。

原口 博子

座談会に参加して、まず先輩の人柄にひかれました。「ぜひ部下に尽きたい!!」と思えるほどでした。すごくためになって、ポジティブになれるようなお話でした。ありがとうございました。

石橋 友紀子

波瀾万丈の人生で、すごい面白かったです！これからもお仕事がんばってください。

脇屋 友美



諸事情から、高卒で百貨店へ入社した。『商は笑にて勝なり』20数年の訓練で、笑顔の覆面がいつの間にか身につけてしまった。こころで、それを打破したいと、講師をかってでたのだ。自分のためのチャレンジが、現役生の役に立つ、何と素晴らしい企画!! 講演本番中、後部席に見回りの大先輩の姿……後にたいそう褒められ大感激、そして笑顔。そうそう、この笑顔がほしくて私は参加したのです。感謝とともに、ぜひ今後は皆様にも参加をお勧めします。

岩田 ひとみ / 10期生(シニアワインアドバイザー[百貨店販売員])



話がとても上手くて、時間があつという間に過ぎました。社会に出たときの大変さがよくわかりました。いやなことがあつても笑顔でふるまえるようになりたいと思いました。

藤田 明穂

先輩の笑顔は、見ている人を幸せにできると思いました。私もどんなときでも笑顔でいれて、ピンチをチャンスにできるようがんばっていきたくと思いました。とても楽しかったです。ありがとうございました。

縄末 知世

わかりやすく、楽しいお話をして下さいありがとうございました。“自分にしかできない何か”を私も見つけてがんばりたいです。

汐月 桃子

第5回OB座談会 開催のお知らせ

卒業生が母校の後輩に対して様々な体験を語ったり現役高校生と対談したりするために一日母校の教壇にたつ：そんな夢のようなひと時「OB座談会」(F&REALLY「Y」)が今年も11月7日(土)に開催されます。

この筑心会目玉企画も5年目を迎え、いまや学校の重要行事のひとつとなり生徒の皆さんはもちろんのこと、先生やご父兄からの評判も大変よいと聞いております。

卒業生の中から、さまざまな職業、さまざまな体験をされた総勢20名を募り講師として招くわけですが、学校側だけでなく、実際に講師として教壇に立ったOBたちからの評判がとてよよいのです。「良い経験になった」「難しかった」「もう一度リベンジしたい」等々さまざまな感想が、終了後に飛び交います。そしてみんな口をそろえて最後に言う言葉は「楽しかったの一言なのです。」

この「OB座談会」の講師募集を筑心会ホームページ上で行います。あなたも悩める高校生たちと貴重かつ楽しいひと時を共有してみませんか。自薦他薦は問いませんので、みなさんの応募を心よりお待ちしております。



尚、講師選定に関しては初めて応募された未経験の方を優先し「OB座談会実施委員会」で検討の上決定させていただきます。(特に営利目的や特定の思想教育を目的とする方は応募をご遠慮ください)

●実施日

2009年11月7日(土)9時～13時

●応募資格

筑紫高校卒業生で悩める高校生たちと貴重かつ楽しいひと時を共有してみたい方

●応募方法

筑心会ホームページよりご応募ください。
<http://www.chikushin.net/>

●対象職業

左記の表に則って、ご自分の職業にあてはまるカテゴリをお探しください。たとえ左記に当てはまらない職業でも大歓迎です。

(あくまでも生徒にわかりやすいように、職業分類を行っています)

詳細は筑心会ホームページをご覧ください。さあ、貴方も悩み多き高校2年生に夢と希望を与えてみませんか？

公務員	国家公務員、官僚、役所、警察官、消防士、自衛官等
教育系	大学教授、教員、児童教育、博物館、図書館等
政治・法学系	政治家、弁護士、行政書士、司法書士、判事、検事等
経済・金融	経済一般、銀行、証券、生保、損保等
福祉系	児童福祉、高齢者福祉、介護等
国際	業種は問わず、世界のフィールドで活躍されている方
マスコミ・広告	放送、新聞、出版、広告代理店、製作、コピーライター等
文化・芸術・スポーツ	クリエイティブ、文化的、スポーツ関連事業に従事の方
運輸	航空、鉄道、船舶、運送、倉庫等
理工	研究所、天文、地球、宇宙、気象等
IT	SE、WEB関連、ソフトウェア、ネットワーク、ゲーム関連等
電機・電子・エネルギー	電機、電子メーカー、ハード関連、電力、ガス、石油等
建築	建築家、ゼネコン、ハウスメーカー、不動産、土木系等
農学・生物・環境	農業、バイオ、生物工学、動物園、植物園、草花系等
医療・保健	医者、看護師、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師等

黄綬褒章受賞に感じたこと

3期生 中森秀樹(ラグビー部)



今まで私にとつて褒章という言葉は縁遠く、所縁もない存在であった。過去に大臣表彰等を受けた折にマスコミ関係の方に「いつかは褒章ですね」と告げられたことはあったが、私としては2、30年先の話であり、その程度の認識であった。

褒章の授章手順は約1年前に候補者が推薦団体より選出され、所管の省へ推薦される。功績調査等の審査をされ問題が無ければ内閣府賞勲局へ省より推薦される。内閣府賞勲局で最終審査が行われる。

この授章の特異な点は、本人には秘密にされ、功績調査においては微に入り細に入り調査され、本人でないかと判らないような事も調査対象である。周囲の方々が大変膨大な書類作りや質疑応答に翻弄されたようだ。

天皇陛下の名の下に授与されるので徹底した調査は必然的なことであるのだらう。特に私の場合は、褒章対象者条件である「国家又は公共に対し功労のある人(おおむね20年以上活動で次の(1)又は(2)に該当する人(1)70歳以上の人(2)55歳以上の人で「精神的肉体的に著しく労苦の多い環境において業務に精励した人」又は「人目につきにくい分野で多年にわたり業務に精励した人」に年齢において当てはまらず、推薦団体や文部科学省は大変苦勞されたようだ。私は何も関与せず協力できないままに名

誉に浴する事になった。誠に関係各位の方々に感謝である。結果、非常に珍しいことに49歳での黄綬褒章の受賞となった。

2009年4月29日に黄綬褒章受賞者の発表がなされた後の周囲の反応は目を見張るものがあった。例えば関連行政機関の首長やメガバンク頭取の方々からの祝電等があり唖然とした。

また私なりに微力ながら、この20年間斯業に励み、いくつかの賞を頂いたが、世間の反応は「彼は若いくせに...」と時折やかみめな批判もあった。だが、今回は「彼は若いくせに...」と肯定的に評価され、ベンチャー企業の代表がごとく扱われ当惑した。

真に本褒章における天皇陛下の御名ならびに天皇陛下が授与されたという事実の大きさに畏敬・畏怖を感じた。



当番幹事紹介

筑心会会員の皆さん、こんにちは。
今年度幹事長をさせていただくことになりました13期生の松尾博人です。現役の頃は、サッカー部でした。現在は、県立高校の教員をしております。

早いもので、卒業して既に二十数年がたちましたが、これまで同窓会総会に出席したのは、実はほんの2、3回でした。このような大役が廻ってきて、とても自分には不応だと考えましたが、これも何かの縁と思い、僭越ながらお引き受けしました。

しかし、不安をかかえながらも、幹事として動き始めてみると、多くの先輩方や同級生から御協力を得て、とても心強くなりました。持つべきものはやはり友ですね。会議を重ねる度に、毎回懐かしい高校時代に戻ったような錯覚を覚え、また、先輩方や同級生、また恩師の先生方のありがたさが身にしみました。(実は、現在の勤務校にも恩師の先生方や先輩後輩がたくさんお



第34回筑心会懇親会 当番幹事

幹事長	松尾博人(13期)
幹事	岡澤忠治(13期)
	後藤貴男(13期)
	中島さち代(13期)
	野崎剛(13期)
	用松俊彦(13期)
	明神恭子(13期)
	草場哲夫(3期)
	草野哲弘(23期)
	宮本知加子(23期)
	秋吉美穂(33期)
	山内麻梨子(33期)



られて心強い限りです)やはり、筑紫高校という同じ学び舎で青春を過ごした同窓生の繋がりというのは、一生の宝物だとつくづく感じます。

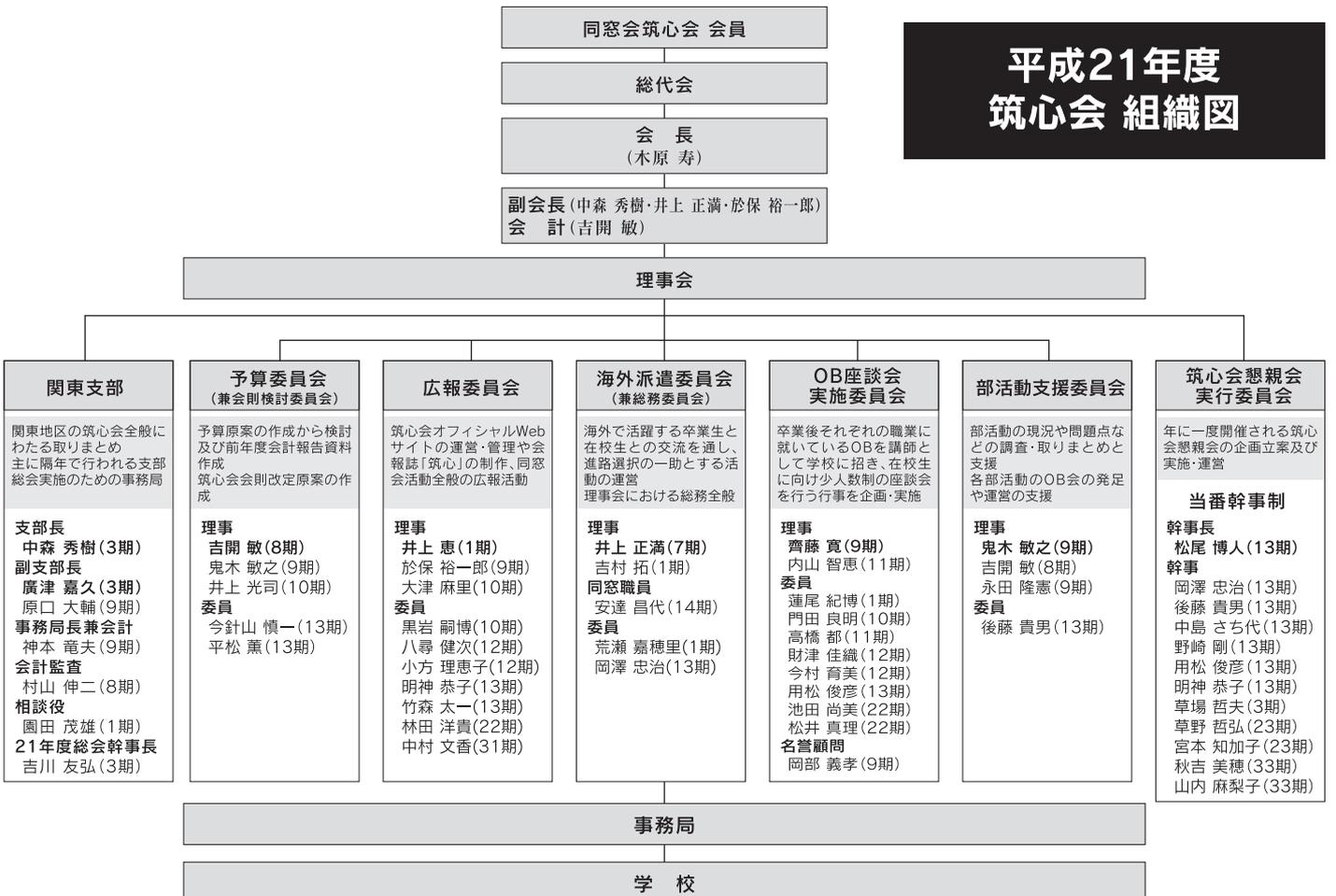
さて、8月2日に行われる同窓会懇親会ですが、恩師の先生方、先輩方、後輩の皆さん、多くの方が参加しやすく、どの世代の方々にも楽しんで頂けるものにしようと、幹事一同工夫を凝らして、準備をしております。

やはり、コンセプトは「恩師の先生方に感謝し、環境にやさしく、子育て世代が参加しやすく、婚活を支援する同窓会」です。

まだまだ、計画段階で、どのような会になるかは来てのお楽しみですが、皆さんに満足いただける会を目指します。どうぞ、皆さんお誘い合わせの上、8月2日(日)西鉄グランドホテルにおいてください。懐かしい再会を果たせることを楽しみにしています。

(特に13期生の皆様には、恐らく一生に一度の当番幹事です。恩師の先生方も沢山ご参加頂けるとのことです。ぜひ多数集結して、ともに盛り上げていきましょう。)

平成21年度 筑心会 組織図



後輩達の今！

女子バレー部



新チームのモットーは「爆発しよう！」

ショートカットの元気で明るい女子バレーボール部は、2年生11名、1年生10名の総勢21名で毎日県大会出場を目指して頑張っている。(去年の冬頃から気合いを入れるためにみんな髪を短くし始めたとか！)

今年筑紫高校に赴任された、顧問の古賀伊彦先生は「明るく元気で、非常に練習熱心な生徒たちです。」と顔をほころばせていらつしやつた。部員の皆さんも「古賀先生は私たちの気持ちをよく考えてくれる先生です。」と切り切るくらい先生と部員の固い絆ができあがっていた。

みんながキャプテンの山田あかねさんのコメントに「うんうん」と頷いたり、大笑いしたり…よくまとまったチームだ。

現在は8月に行われる「とびうめ杯」という錬成会で、14チーム中7位以内に入ることを目標に日々練習に励んでいる。そして、最終的には「県大会に出場します」と力強く語ってくれた。

創部以来、未だ県大会出場をしていない筑紫高校の女子バレーボール部。「今まで先輩方が築かれたことを引き継ぎ、絶対県大会に行きます！応援よろしくお願いします。」

「平日は2時間、土日は最低でも4時間は練習します。」とサラツと言う部員たちの姿に頼もしさを感じた。練習が始まった体育館には、元気な声が途切れることなく響き渡っていた。

書道部



目標は「高文祭全国大会」出場！

書道部は、文化祭(6月12、13日)の展示を大好評のうちに終え、秋の全国高等学校総合文化祭に向けて、心機一転、活動を続けている。

実は「存続の危機」だった。10人以上の部員がいた時期もあったが、平成20年3月に、当時一人だった部員が卒業したことで休部状態に。今年2月になって、主将を務める2年生成見絵理さんが、顧問の書道教諭・安村廣司先生の誘いもあって入部。同じ2年生の里屋仁美さんも後に続き、今春、新1年生の藤渡悠香さんが加わった。

3人の「初舞台」となった文化祭では、「風」をテーマに作品を用意。掛け軸や短冊など、3人がそれぞれ約70点をそろえた。3年生の書道選択者のほか、安村先生、達筆な先生方の

作品も並び、文化祭に来場した保護者や本校・他校の生徒からは感嘆の音が相次いだ。3人には大きな「自信」となった。

放課後の校舎3階の書道室。安村先生の部員たちへのアドバイスの声が響く。「人生はやり直しがきかない。書道も一発勝負だ」。半紙に向かう部員の集中力がとぎれがちなとき、こんな言葉を贈る。

「仲間の作品もあるから、頑張れる。先生の、書道と人生を結びつけた教訓の言葉も書道部の魅力です」と成見主将。高文祭は9月以降、地区大会、県大会を経て、県内のトップ10が全国大会に参加できる。夏季には合宿も行う予定。少数精鋭で、困難な道に挑む。